

皆さまへ

会報記事について訂正とお詫び

NPO 法人 PID つばさの会
広報担当理事八木かおり

寒さも本番に向いますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。平素は当会の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて先日発行の会報 Wing19 号中、皮下注に関する記事に誤りがございましたので、以下の通り訂正し、お詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。下部に、新たに図も追加しましたので、ご確認のほど、何卒よろしくお願い致します。

【誤】

ごく小さな針のついたシール状の物を、お腹の適当な場所に貼り、専用のポンプで注射器を押して薬液を注入する形式になっています。



【正】

お腹や大腿部などの柔らかい部分をつまんで、そこに翼状針を刺し、専用のポンプで注射器を押して薬液を注入する形式になっています。(翼状針のチューブが薬液の入った注射器につながっていて、それを機械式のポンプで押す形です。)

【誤】

シールを貼る際に、一瞬だけチクリとしますが、その後は通常痛みもなく、リラックスした状態で…



【正】

針を刺す際に一瞬だけチクリとしますが、その後は通常痛みはありません。もしも針を刺す際の痛みが我慢できない方は、それを軽減できるシールを使うことも出来ます。先に皮膚に痛み軽減用のシールをしばらく貼っておき、そのシールをはがしてから翼状針を刺します。その後はリラックスした状態で…

【誤】

投与のスケジュールや量については、主治医から「1週間に1度、2枚」などのように指示が出され、その処方に従います。1枚の投与にはだいたい1時間程度かかり、投与が済むとはがして終了です。



【正】

投与のスケジュールや量については、主治医から「1週間に1度、**2本**」などのように指示が出され、その処方に従います。1本の投与にはだいたい1時間程度かかり、投与が済むと**針を抜いて**終了です。

